



Topics

- Economics
- Finance
- Government
- Politics

Jagdish Bhagwati教授は、コロンビア大学の大学教授であり、また、外交問題評議会の国際経済学シニアフェローでもあります。彼はArthur Dunkelの経済政策顧問、GATT事務局長（1991-93）、グローバリゼーションに関する国連の特別顧問、そしてWTOの外部顧問を務めてきました。彼は、WTOの将来に関するWTOの事務局長およびアフリカにおけるNEPADプロセスに関するコフィ・アナン事務総長への諮問委員会によって任命された専門家グループに務め、また、議長の下で著名人グループのメンバーでもありました。UNCTADの将来に関するFernando Henrique Cardoso大統領のコメント

Bhagwati教授は300以上の記事を出版し、50冊以上の著書を編集しています。彼はまた、ニューヨークタイムズ、ウォールストリートジャーナル、ファイナンシャルタイムズのために頻繁に書いているだけでなく、ニューリパブリックとタイムズ文学サプリメントのためのレビュー。1971年にJournal of International Economics、1989年に別のJournal of Economics and Politicsを創設しました。

バグワティ教授は彼の世代の最も創造的な国際貿易理論家と言われており、より自由な貿易のための戦いのリーダーです。彼の最新の著書『グローバリゼーションの防衛』（Oxford、2004年）は、世界的に高い評価を得ています。彼の科学的著作の5冊と公共政策のエッセイのうち2冊がMITプレスによって出版されています。彼の名誉の6つの祝祭の受賞者は、彼はまたインド（パドマVibhushan）と日本（昇順、金と銀の星の順序）の政府からの賞を含むいくつかの賞と名誉学位を受けました。

インド出身のBhagwati教授は、ケンブリッジ大学に通い、1956年に経済学のTriposで初めて卒業しました。その後、MITとオックスフォードで勉強を続け、1961年にインド統計研究所の経済学教授として、そしてその後デリースクールオブエコノミクスの国際貿易教授としてインドに戻った。彼は1968年にMITに戻り、12年後にフォード国際経済学教授としてコロンビアに入国しました。彼は、コロンビア大学のグラディスとロナルド・ハリマンの比較経済システム教授であるパドマ・デサイと、ロシアと他の元社会主義諸国の移行問題の学者と結婚しています。